

令和4年度 60回生 授業概要(シラバス)

科目名	倫理学	分野/教育内容	基礎分野/科学的思考の基盤
開講年次・時期	1年前期 令和4年9月12日	単位数/時間	1単位/30時間
担当講師名	音喜多 信博	所属・職位	岩手大学人文社会科学部・准教授
		資格・免許	
授業の概要	医療実践において遭遇するであろう人間の「死」をめぐる諸問題について、生命倫理的な観点からの議論を紹介する。		
到達目標	終末期医療、安楽死、脳死臓器移植などにまつわる、倫理的・法的・社会的問題について基本的な知識を得るとともに、自らの死生観と照らし合わせながら、これらの問題についての自分なりの意見を形成する。		
事前学習内容	特になし		
成績評価の方法	試験により評価するが、授業中に書く小レポートや受講姿勢も考慮する。		
使用教科書	教科書は使用せず、資料プリントを配布する。参考文献については、授業中に適宜紹介する。		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	イントロダクション—現代社会における死の特徴		講義
第2回	インフォームド・コンセントについて		
第3回	生命倫理学という学問の成り立ち		
第4回	終末期医療とQOLの概念		
第5回	ビデオ視聴(在宅ホスピス)と小レポート作成		
第6回	安楽死の定義と区分		
第7回	積極的安楽死をめぐる日本の状況と海外の状況		
第8回	ビデオ視聴(積極的安楽死)と小レポート作成		
第9回	安楽死をめぐる哲学的問題		
第10回	治療中止をめぐる厚生労働省のガイドラインについて		
第11回	脳死の定義、脳死と臓器移植との関連		
第12回	ビデオ視聴(脳死臓器移植)と小レポート作成		
第13回	臓器移植法について		
第14回	脳死と植物状態		
第15回	まとめと試験		
履修上の留意点	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業中に配布する新聞記事等の資料プリントを、授業終了後に精読すること 2. 授業中に映像資料を視聴して、それについての意見を小レポートにまとめたり、ディスカッションしたりする機会も設ける予定 		